

護佐丸タクシー実証運行状況及び運行の課題

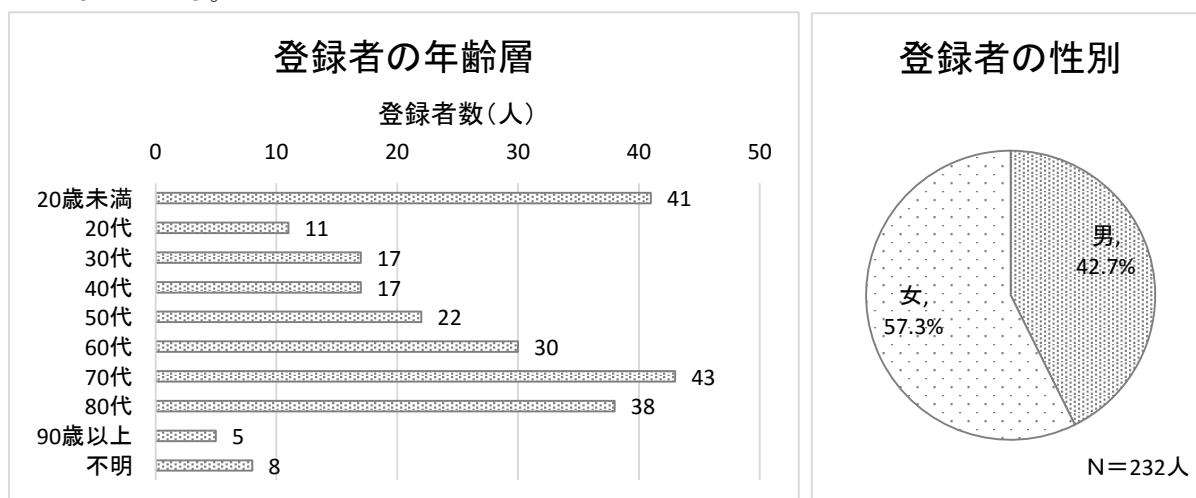
I 護佐丸タクシーの運行状況

【護佐丸タクシー運行概要】

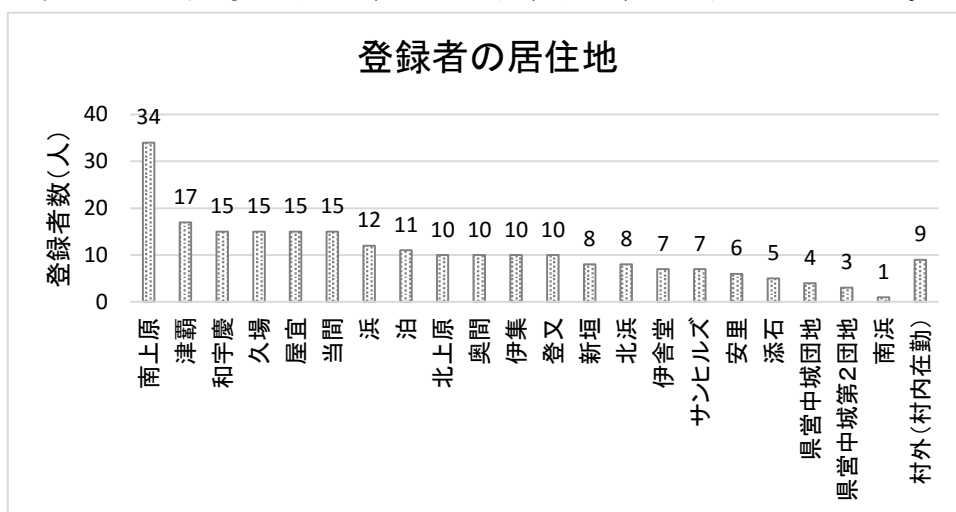
- 運行開始日：2015年7月6日より有償実証運行開始
- 運行頻度：1時間1本（車両2台導入）
- 便数：平日…7時便～17時便の11便（予約時間…6:00～17:00）
土日祝日…9時便～17時便の9便（予約時間…同上）
- 運行車両：タクシー車両（最大4名）×2台
- 運賃：300円、障がい者・介助者は200円
- 運行主体：有限会社共同交通（西原町）

1. 登録状況

2015年10月2日現在の登録者総数は232人である。年齢層は70代が43人と最も多く、次いで20歳未満が41人、80代が38人となっている。性別では57.3%が女性、42.7%が男性となっている。

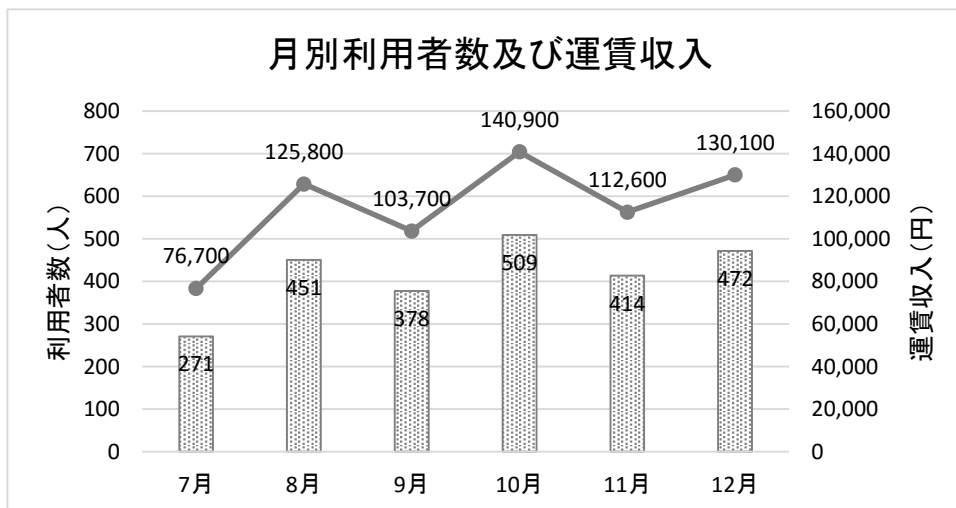


居住地は、人口の多い地域ほど多くなっており、最も人口の多い南上原が 34 人となっている。一方で人口は少ないが公共交通空白地域（浜、北浜、南浜、北上原、新垣、登又）となっている地域からの登録も多くみられ、浜が 12 人、北上原が 10 人となっている。



2. 月別利用状況

7 月から 12 月までの月推移利用者数及び運賃収入をみると、偶数月に利用者が多くなっており、特に 10 月は 509 人と最も多くなっている。偶数月は年金交付月で利用が多くなると考えられる。運行日数の少ないの 7 月を除き、最も利用者が少ないのは 9 月で 378 人となっており、シルバーウィークの影響が考えられる。ばらつきは見られるものの、月平均利用者数は 415.8 人/月となっている。運賃収入は利用者数に比例して月ごとにばらつきが見られる。月平均運賃収入は 11.5 万円/月である。



※7月6日より運行開始

月別の利用者数及び運賃収入を日平均でみると、利用者数は概ね 14.1 人/日、運賃収入は概ね 0.4 万円/日となっている。

日平均利用者数と日平均運賃収入

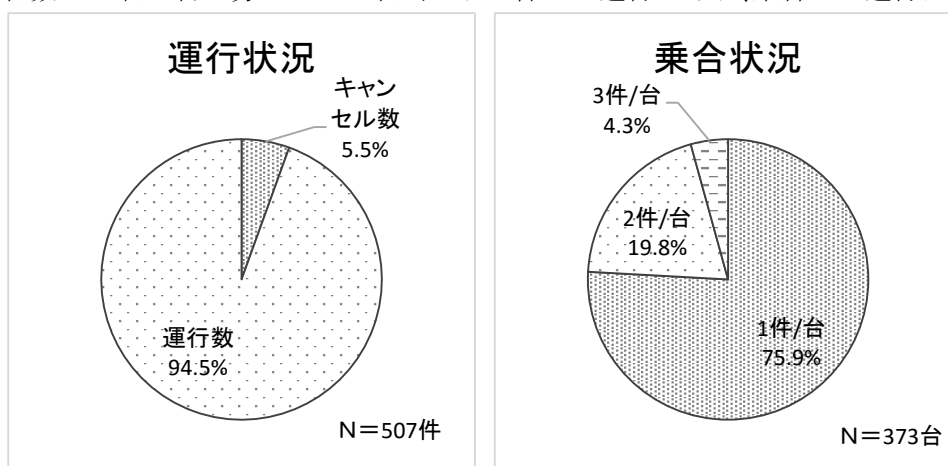
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全期間
運行日数(日)	26	30	30	31	30	30	177
日平均利用者数(人/日)	10.4	15.0	12.6	16.4	13.8	15.7	14.1
日平均運賃収入(円/日)	2,950.0	4,193.3	3,456.7	4,545.2	3,753.3	4,336.7	3,897.2

3. 利用状況の詳細（2015年10月運行データ整理）

（1）運行状況

10月の利用者数509人に対し、予約総数は507件で、そのうちキャンセル数が28件（比率5.5%）、運行数は479件（同比94.5%）で、予約のキャンセルは少ない。

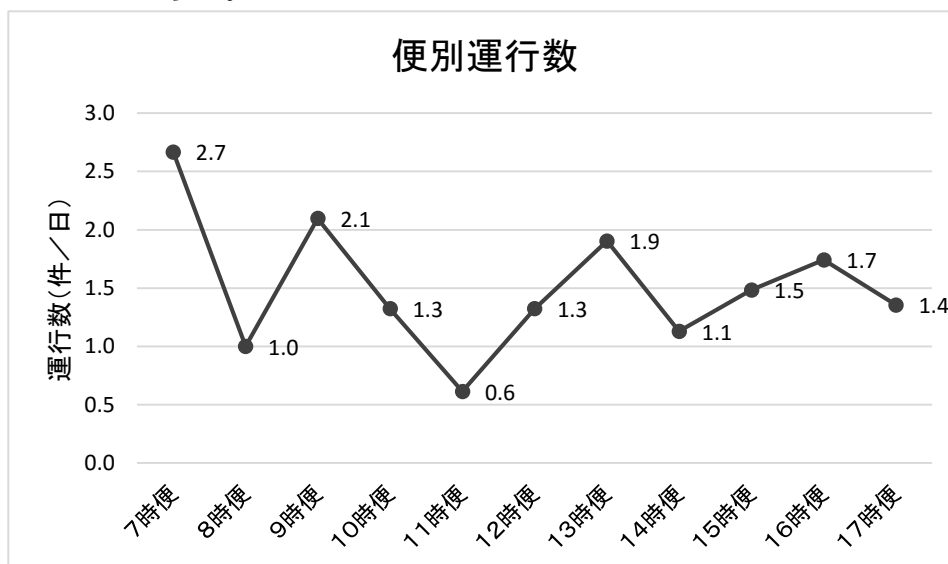
運行台数373台の約4分の3が1台当たり1件での運行であり、乗合での運行は多くない。



（2）便別運行数

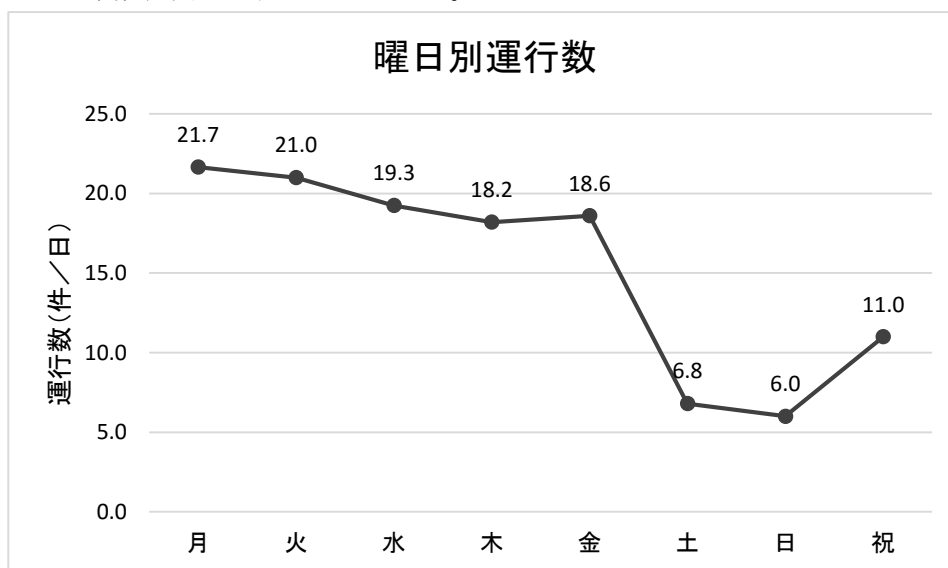
便別運行数を日平均で見ると、7時便が2.7件/日と最も多く、次いで9時便が2.1件/日となっている。ほとんどの便で1件以上の運行が見られるものの、11便では0.6件/日と最も少なくなっている。

7時便は通勤に、9時便は通院で利用されており、13時便や14時便などは買い物などで利用されていることが多い。



(3) 曜日別運行数

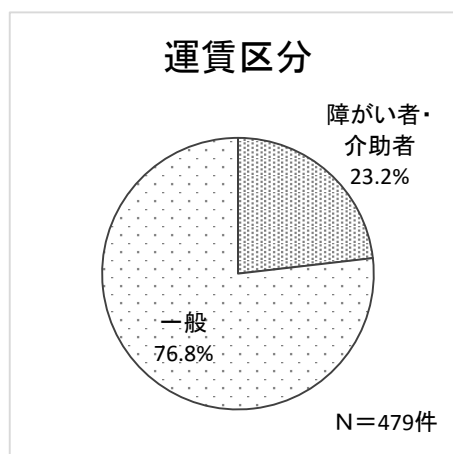
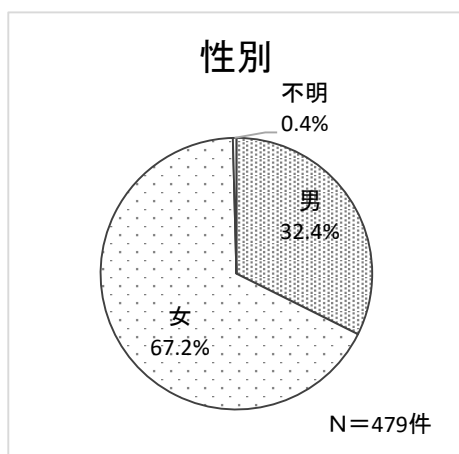
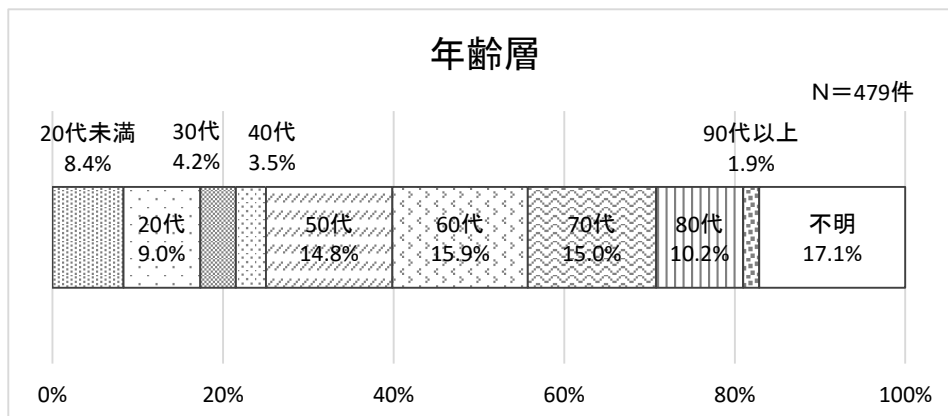
曜日別運行数を日平均で見ると、平日は概ね 18~22 件/日の運行となっているものの、土日祝日はその半数程度の運行となっている。



※平日は 7 時便~17 時便、土日祝日は 9 時便~17 時便で運行

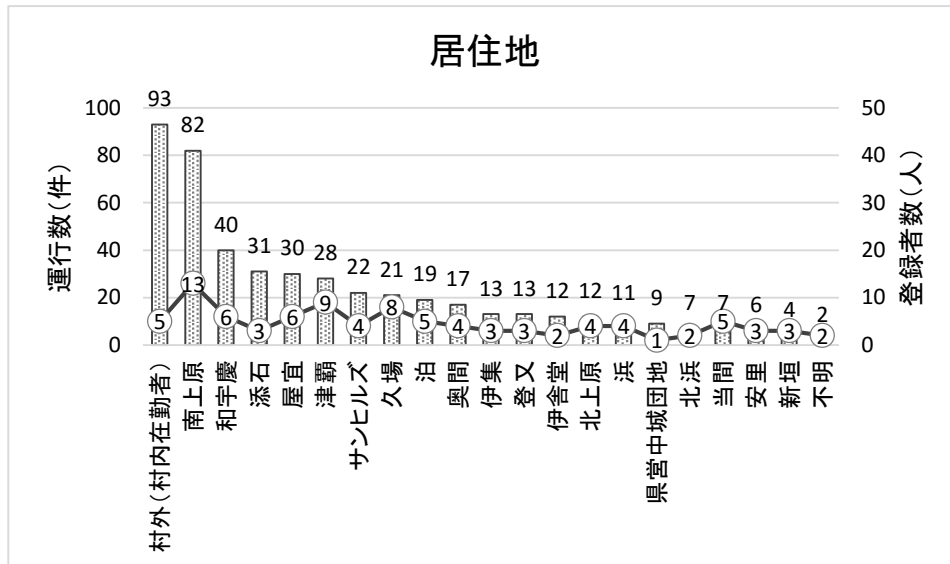
(4) 利用者の属性

年齢層は 60 代が 15.9%と最も多く、次いで 70 代が 15.0%、50 代が 14.8%となっている。性別は女性が 67.2%と多くなっている。運賃区分では一般が 76.8%、障がい者・介助者は 23.2%となっている。以上より、利用者は年配の女性が多いと言える。



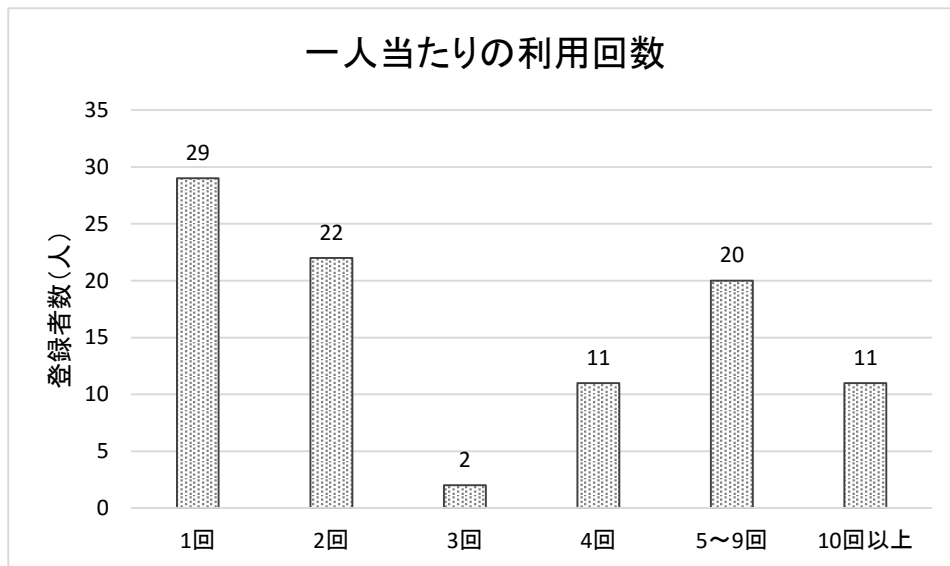
居住地では、村外（村内在勤者）が93件と最も多く、次いで南上原が82件となっている。公共交通空白地域のほとんどから利用者は見られるものの、南浜からは利用が見られない。

登録者数でみると、最も登録者数が多いのは南上原が13人、次いで津覇が9人、久場が8人で、人口の多い地域となっている。なお、村外は5人にとどまっており、特定の利用者が通勤などで定期的に利用している。



(5) 一人当たりの利用回数

一人当たりの利用回数はほとんどが1回、2回である。10回以上のなかには、ほぼ毎日利用している方も含まれ、最も多い回数は48回であった。



利用回数上位3位

1位	48回
2位	32回
3位	25回

(6) ODの状況(7ページ「護佐丸タクシーOD表」参照)

OD(発着地点)の状況をみると、発地点では、南上原が101件と最も多く、次いで小那覇が31件、普天間りうぼうが29件となっている。着地点では、南上原が69件、次いで添石が59件、ハートライフ病院が46件となっており、村外の小那覇、中部商業高校、普天間りうぼうでも件数が多くなっている。

移動区間では南上原⇒添石が30件と最も多く、次いで南上原⇒小那覇が22件、添石⇒南上原と普天間りうぼう⇒添石がともに19件となっている。南上原⇄添石区間は村外(村内在勤者)が通勤のためにほぼ毎日利用しており、件数が多くなっている。

村海側の平坦地区と宜野湾市側の台地地区との間の移動をみると、平坦地区⇒台地地区が58件、台地地区⇒平坦地区が88件となっており、比較的件数が多いことから、平坦地区と台地地区を結ぶ移動手段としての機能を果たしていると言える。また平坦地区内は70件、台地地区内は17件で、村内々の移動は233件(全体の48.6%)となっている。一方、村内⇒村外は143件、村外⇒村内は96件で、村内外の移動は239件(全体の49.9%)となっており、村内々よりも村内外の移動が多くなっている。

商業施設や病院での乗降が多くなっていることから、主に買い物や通院に利用されていると考えられる。

Ⅱ 事業者ヒアリング

【事業者ヒアリングの概要】

- 目的：運行の諸問題や利用状況を把握し、課題整理することを目的とする。
- 実施期間：2015年12月25日～2016年1月8日
- 実施方法：ファックスまたはメールによるヒアリングシートの配布・回収
- 調査対象：有限会社共同交通（運行管理者）

【回答内容】

○利用状況について

- ・障がい者の利用が多く、利用時間帯は平日7時～14時、休日12時～13時で、小那覇や村内のデイケア施設・事業所・病院・スーパーなどが主な行先となっている。
- ・障がい者に次いで利用が多いのは高齢者で、平日8時～17時、休日10時～16時（午後）の利用が多く、病院や小那覇・普天間りうぼう・長田・村内等が主な行先となっている。
- ・一般の利用はやや少なく、利用時間帯はまばらである。主な行先は病院や商業施設である。
- ・学生の利用は普段はほとんど利用がないが、夏休みは多かった。中部商業高校や普天間りうぼう、夏休みには添石が主な行先となっている。

○リピーターについて

- ・平日はリピーターが多く定期的に利用されているが、休日はまばらである。

○路線バスなど他公共交通への乗り継ぎについて

- ・不明である。

○運行についての要望・改善点

<予約方法>

- ・予約受付時間を8時～16時にしてほしい。
- ・村民に対する広報活動が不十分と思われる。
- ・今まで通りでよい。

<配車方法>

- ・各字のバス停、公民館など、乗車場所を特定してほしい。
- ・待機場所を中城村内にしてほしい。
- ・今まで通りでよい。

<運行時間>

- ・出庫時間に合わせて始発を8時便からにしてはどうか。
- ・昼勤者の勤務時間を考慮して16時便を最終便にしてほしい。

- ・ 8 時～16 時半にしてほしい。
- ・ 7 時～16 時にしてほしい。17 時便を廃止してほしい。

<運行区域・ミーティングポイント>

- ・ 降車場所を広げてはどうか。降車場所を増やすことができればいい。ミーティングポイントを増やしてほしい。
- ・ 村内・西原（小那覇）のみ、宜野湾・北中城は無しでいい。
- ・ 村内はいいが、西原内を増やしてほしい。
- ・ 村内だけにしてほしい。
- ・ 利用者にミーティングポイントはどこが良いかアンケートを取ってみてはどうか。

<その他>

- ・ 運賃を値上げ（見直し）してはどうか。

○利用者からの意見や要望について

- ・ 1 時間のなかで行き帰りで利用したいが、1 時間に 1 回の予約ということでかなり待ったとのこと。重複して予約ができるといいと思う。同一時間に重複して予約を入れさせてほしい。
- ・ 村外ミーティングポイントを増やしてほしい。
- ・ 村民にもっと周知・宣伝を行ってほしい。
- ・ ミーティングポイントに行く途中でも降車できるようにしてほしい。
- ・ 高齢者の方が通院や買い物などに利用しており、大変喜ばれている。
- ・ 料金が安く、乗り継ぎなしで行けるので、いつまでも運行してほしい。
- ・ 来年度も継続してほしい。いつまでも続けてほしい。

○管理体制についての要望・改善点

<人材>

- ・ 希望者がいればその人を優先する。
- ・ モチベーションが変わるので、補償をあげてほしい。乗務員の補償を 13,000 円くらいにしてほしい。やる気が変わり利用者に対してサービスも向上すると思う。

<車両>

- ・ プリウスでいい。
- ・ 特定の車両だけが使用され帰庫が遅いため、車両の変更をしたほうがいい。

<運賃>

- ・ 運賃を上げたほうがいい、300 円から 500 円に値上げしてほしい。
- ・ 距離に応じた料金にしてほしい、距離によって運賃を変えてはどうか。

- ・バス運賃程度にしてほしい。
- ・今まで通りでよい。

<キャンセル状況>

- ・キャンセルは全体からするとほとんどなく、事前にキャンセルの連絡が入ることが多い。予約者自身の都合によりキャンセルするケースが多く、予約を入れるときに「とりあえず入れておく」という感じがある。
- ・乗車場所に不在によるキャンセルは10代女性が常習的にあるが、月に数件程度である。
- ・利用者が少ない時間帯に利用されていた方は、通常のタクシーの感覚が強いようである。
- ・同乗者がいる場合にキャンセルする方もおり、特に男子学生は女子学生と同乗となるとキャンセルする。

<その他>

- ・乗合の時は2組までにしてほしい。
- ・もう少し利用者が多ければいいと思う。アピールが足りないのではないかな。

○既存タクシー事業への影響について

- ・影響は多少あると思う。西原町内のタクシー会社へは影響はないと思うが、中城村内のタクシー会社には影響があると思う。
- ・利用者がまだ少ないのであまり影響はないと思う。影響はない。
- ・プラスはあってもマイナスはないと思う。

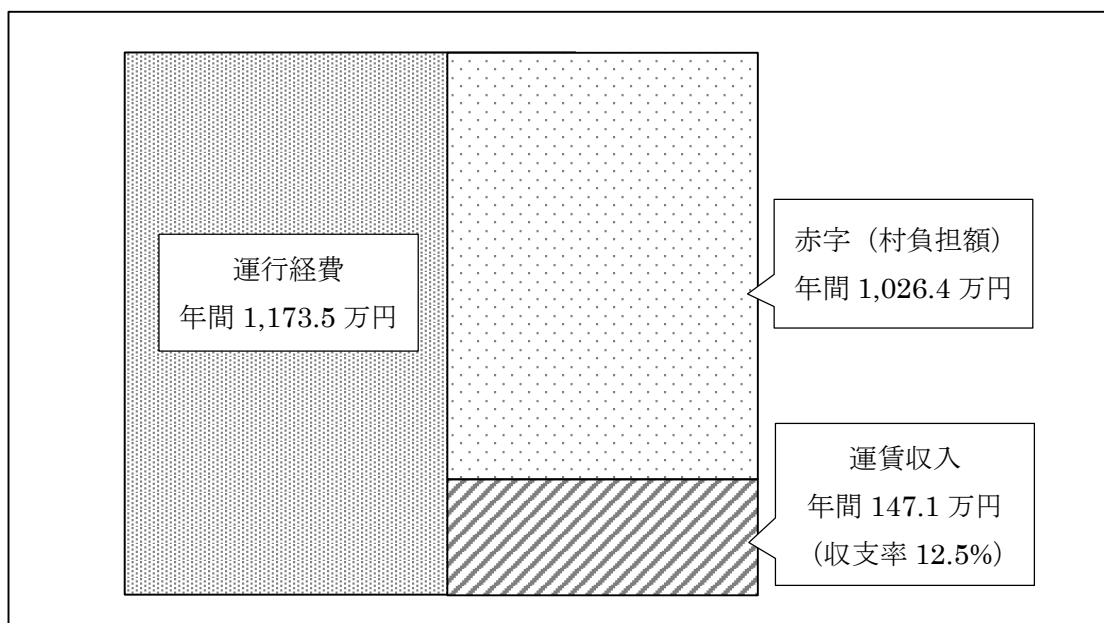
○その他の意見・要望

- ・護佐丸タクシーをやると営収が落ちる。
- ・待機時間が精神的につらい。
- ・中城村民に料金・運行時間等をもっとアピールして何名かで乗合で使ってもらえるといい。
- ・利用者がデマンドの運行方法を理解していないのではないかな。タクシーと同様と認識されていることが多いと感じる。

Ⅲ 収支状況

平成 27 年 7 月～12 月（約 6 カ月）の実績運行経費は約 467.7 万円、実績運賃収入は約 69.0 万円で、収支率 14.7%、赤字額は約 398.7 万円となる。なお、護佐丸タクシーは村単費による運行で、赤字補てんは村が行う。

平成 28 年度の予測は、運行経費が 1,173.5 万円／年、運賃収入は 147.1 万円／年、収支率は 12.5%で、赤字額が 1,026.4 万円／年と見込んでいる。なお、運賃収入については、平成 27 年 8 月～12 月の利用状況の維持を見込み、月平均収入から算出している。



※運行経費については、「V 課題の改善」を踏まえた試算となっている

平成 28 年度 収支関係概念図

IV 護佐丸タクシーの課題点

【利用の定着について】

- ・平成 26 年度実証運行では、5.9 人／日（実績：47 日間で 277 人）の利用で、当初見込みでは 9.8 人／日（年間予測：365 日間の運行で 3,577 人）としていたのに対し、現在は 14.0 人／日の利用があり、実証運行時また見込みを上回った利用が見られることから、護佐丸タクシーの存在は定着してきたと考えられる。
- ・一方で、村民全体に対する実際の利用者数は少なく、周知不足によるものと考えられる。
- ・平日は一定量の利用が見られる一方で、土日祝日は平日と比べ利用が半減している。

【収支について】

- ・現状の収支率は 14.7%と低い。

【運行計画について】

- ・現在の運行計画について、運行主体側からの要望は多いものの、「台数が足りない」や「運行が遅れる」などの大きな課題はないと考えられる。

【既存事業への影響について】

- ・事業者ヒアリングからは、既存タクシー事業への影響について意見が分かれている。
- ・村内タクシー事業者の聞き取りからは、利用の落ち込みは見られるものの、景気などの社会情勢による影響か、護佐丸タクシーによる影響かは明確でない。

<護佐丸タクシーの課題点>

- 利用促進を図り、あわせて収支の改善を図る必要がある。
- 継続的な運行を行うために、運行主体の要望改善を図る必要がある。
- 既存タクシー事業への影響について十分に調査する必要がある。

V 課題の改善

課題の改善については、大々的な運行計画の変更は行わず、収支改善及び運行主体の要望改善を図る。

<収支改善>

区 分	問題点・要望の内容	対 応
支出の削減	・ 土日祝日の利用が少ない	・ 利用者の少ない土日祝日の運行台数を 2 台導入から 1 台導入と削減し、運行計画の変更を行う ⇒経費の削減を図る
収入の拡大	・ 村民全体に対する実際の利用者は少ない	・ 広報へ運行状況の報告の掲載、周知活動等を行う ⇒利用の促進を図る

<運行主体の要望改善>

区 分	問題点・要望の内容	対 応
予約受付時間	・ 8 時～16 時に変更してほしい	・ 運用上 6 時～17 時としていたが、本来の運行計画に合わせ、予約受付時間を 8 時～17 時に変更する ⇒運行主体の要望改善を図る ⇒オペレーター経費の削減を図る
運行時間	・ 8 時便～16 時便にしてほしい	・ 7 時便、17 時便ともに一定の利用者がいるため、運行計画の変更は行わない
人件費	・ 増額してほしい	・ 既存タクシー事業の昼勤務体制を考慮し、17 時便は超勤扱いとして割増で支払う ⇒運行主体の要望改善を図る ⇒サービスの向上による利用の促進を図る
ミーティングポイント	・ 西原町内のミーティングポイントを増やしてほしい ・ 宜野湾市内と北中城村渡口のミーティングポイントを廃止してはどうか	・ 隣接する西原町のニューマンをミーティングポイントに加える ・ 乗降の少ないミーティングポイントもあるが、運行上の問題がないため、ミーティングポイントの廃止は行わない ⇒利便性の向上による利用の促進を図る
運賃	・ 500 円に値上げしてはどうか ・ 距離に応じた運賃にしてはどうか	・ 現状でも利用者が少ないため、当面は 300 円を維持し利用の確保・拡大を図る